

# Trans Pacific Baseball Studies 研究会 野球映像ワークショップ

環太平洋野球研究（TPBS, Trans Pacific Baseball Studies）の一環として、20世紀前半の貴重な野球映像を鑑賞しながら、選手の身体技法、観戦形態、記録された野球文化の細部にわたり意見交換を行うワークショップ。



日 時：3月16日（日）

13:00-16:00

場 所：甲子園歴史館  
多目的ホール

参加無料、参加申し込み不要

## 上映作品一覧

- ・『魂（たま）を投げろ』（1935）：飛田穂洲原作
- ・嘉義農林高校甲子園出場時映像
- ・The Ball Game（1898）：現存する最古の野球映像
- ・Baseball Slow Motion Pictures（1926？）：ベーブルースのバッティング等
- ・Senators Win World Series（1924）：当時のワールドシリーズの記録映像
- ・The Baseball Stars（1931）：投球についての教則的映像
- ・Grantland Rice Sportlite（1935）：ベーブルースらの練習映像

## 登壇者

司会：小笠原博毅（神戸大学国際文化学研究科・教授）

### 大谷晋平

神戸大学国際文化研究推進インスティテュート・学術研究員。  
専門は映画学、映画史、物語論。

### 山本敦久

成城大学社会イノベーション学部・教授。同大スポーツとジェンダー平等国際研究センター所長。専門はスポーツ社会学。

### 邨田直人

サンケイスポーツ記者。現サッカー担当。2024年まで阪神タイガースを担当し近本選手への密着インタビューなどを掲載。

主催：神戸大学国際文化学研究推進インスティテュート研究プロジェクト  
「阪神間モダニズムにおける身体文化の表象」（代表：大谷晋平）

協力：神戸映画資料館

画像提供：神戸映画資料館、甲子園歴史館

（許可なく画像を使用することは禁じます）

問合わせ：大谷晋平（神戸大学国際文化学研究推進インスティテュート mail: otani\_s@yahoo.co.jp）